

経営の神様と言われたパナソニックの創始者・松下幸之助氏の言葉に、『世の中で成功している人に共通していることは、皆、謙虚であるということだ。』というものがあります。私も松下氏の考えに同感ですが、このことはまさに、先ほどの解説の最後にあつた「おごることなく、謙虚な姿勢を持ち続けることは、周りの人からの信頼を得ることにもつながります。」ということの意味しているのではないかと思います。

人間は、自分の仕事や取り組んでいること等に対し、良い意味で「誇り（プライド）」を持って取り組んでいくことは極めて重要なことだと思います。そのことが、より良い結果・成果に繋がるに違いありません。一方で、あまりにプライドが高すぎると、「誇り（プライド）」に「埃（ほこり）」が被ってしまい、いつしか「おごり」に替わっていつてしまいます。こうなると、もう周りの人からの信頼を得ることは難しくなるでしょう。すなわち、周りの人々に対する感謝の気持ちを忘れず、そして、心に誇り（プライド）を秘めつつも、おごることなく謙虚に生きることが重要であると考えます。そうした人間に成長すべく、皆で一緒に学んで行きましょう。